

通信

NO. 93
2020年10月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

今月のスケッチ

秋サケ北海道から



北海道の女房殿のお友達から今年も秋鮭を送っていただきました。

早速、弟が腕を振るって切り身にしてくれ、女房殿は、イクラのしょうゆ漬けを作りました。

切り身になる前に、ちょっとスケッチしました。

スタ
コラ

半沢直樹と リーダー像 下門 千華

毎週日曜の「半沢直樹」が終了し、少しロス気味となっています。

いやあ～、今回はさすがに、「顔芸」や「現代ドラマ歌舞伎」

など、癖が強く、観だしたころは、ちょっと作りすぎだなという違和感を抱えながら、視聴していましたが、回を重ねるごとに、まんまと胸に刺さり、驚掴みされてしまいました（笑）。

たくさんの名言があるなかで、私が心に刺さった名言を勝手にランキングしてみました。

NO. 1「未来を見据えるんだ。大事なのは、感謝と恩返しだ。その2つを忘れた未来は、ただの独りよがりの絵空事だ。これまでの出会いに感謝し、その恩返しのつもりで仕事をする。そうすれば、必ず明るい未来が拓けるはずだ。成功を祈る！」

NO. 2「大事なのは、”どこで”働くかじゃない!” どう”働くかだ!”

NO. 3「どんなに素晴らしい伝統でも、それに縛られて生きる力を失えば、未来に引き継ぐことができません」

半沢がバンカーとして、どんな状況でも企業の成長性を見出し、企業の経営・組織強化の再建、部下を成長させるチャンスを与えたり、敵対していたメンバーをも味方につける人脈戦術に、お見事と言わざるを得ませんでした。

最終回の視聴率44%越えをたたき出した理由の一つに、半沢の「信念」に魅了されたと感じます。

① 正しいことを正しいことと言えること

この「通信」の包装は、袋や用紙、宛名カードの材質の影響で、多少のずれやしわ、ゆがみなどがある場合があります。ご容赦ください。



② ひたむきで誠実に働いたものがきちんと評価されること。是非とも、部下を持つリーダー、上にたつリーダーが取るべき「信念と行動を一致」させ、この激変する時代に、リーダー自らが変わり、明るくやりがいある組織づくりをしていきたいなと感じました。

実りの秋

7月の水害などここ数年、異常な気象のために、各地に甚大な被害が広がり、その復旧や支援が行われていますが、季節は確実に進んでいます。



被害が少なかった近所の田んぼには、色づいた稲穂が、秋のさわやかな風にそよいでいました。

別の田んぼでは、稲刈りも進み、実りの秋の風景が広がっていました。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

山ちゃんの映画観ておぼ記

沖縄スパイ戦史



監督：三上智恵、大矢英代
2018年 東風

1945年アメリカ軍が沖縄に上陸、民間人を併せ20万人あまりが死亡する激戦となった。北部では、ゲリラ戦・スパイ戦など裏の戦争が展開された。

その秘密戦の主役となったのは、銃を持ち山に籠もって戦った10代なかばの少年達だった。

指導者には、秘密戦の教育を終了した者、つまり「陸軍中野学校」でスパイの教育を受けたスペシャリストが当てられた。

住民を作戦に利用しても、守ると言う発想に欠けた日本軍のいまわしい伝統は、現在の自衛隊の最高規範「野外令」でも、一掃されていない。

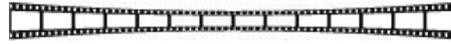
また、自衛隊法103条でも「住民の行動制限・交通遮断・住民の収容等…業務従事命令」によって住民は、自衛隊に協力をしなくてはならないとなっている。

沖縄戦の真実を知ってもらう

為にも、是非多くの皆さんに鑑賞してもらいたい作品である。

9月号の記事に次の誤りがありました。訂正します。

誤「黒社会のボス、ン・シーホー」
正「黒社会のボス、ン・シックホー」



くまさんの
コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

立憲主義と学術 会議の任命拒否 政府の姿勢を問う

菅義偉首相が日本学術会議の推薦した会員候補6人の任命拒否は、「学問と自由と独立侵害」だけでなく、憲法が保障する国民の「思想・良心の自由」、「信教の自由」、「表現の自由」、「言論の自由」への攻撃として、174の学会をはじめ、日本ペンクラブや映画関係者、日本劇作家協会、日本キリスト教協議会、労働組合など幅広い団体・個人が批判の声を上げている。

菅首相はさらに、テレビのインタビューに応え、日本学術会議が提出した105人の推薦名簿を「見ていない」と発言しながら、「総合的・俯瞰的な活動を確保する観点から判断」と、「見てもいない名簿」を判断したとする全く説明にならない発

言を繰り返している。

しかも、今回の任命を拒否された6人は、憲法違反だとして問題になってきた安保法制や共謀罪等に反対を表明している学者だといわれている。

今回の事態は、単に“任命拒否”としてとらえられるものではなく、「時の政権にとって反対させない」「批判や物を言わせない」とするファッショ的暴挙であるといわざるを得ない。

安倍前政権の中枢・内閣官房長官であった菅首相自身もまた、立憲主義を乱暴に踏みこむ本質を端無くも現わしている。

国の根幹である立憲主義をめぐるせめぎあいは、いっそう激しくなっている。



編集後記

庭のバラがきれいな花を咲かせているが、2020年は、新型コロナウイルス

感染症が全世界的に広がり、深刻な状況が続いている。

年男として迎えた今年も、もう残り2か月ちょっととなったが、来年の丑年はどんな年になるのだろうか。

いや、どんな年にするのか。



Relationship & Partnership
Bビジネス総研

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-409-4177 FAX092-409-4170

Eメール kuma@b-souken.com

<https://www.b-souken.com>